

集計・報告 東北大学病院 佐藤清和
 太田西ノ内病院 庭山 洋
 文責 新潟県立中央病院 大坂暁胤

放射線治療あすなろ会第 4 回総合学術セミナー参加報告書

日時 : 令和元年 6 月 29 日(土) 12:00~18:00
 場所 : コラッセ福島
 参加費 : 1000 円 (学生無料)
 参加条件 : 放射線治療に関する臨床ならびに研究に関心を有する者

内容 : 1. 「**免疫放射線治療 (Immuno-Radiotherapy) の理論的背景と現状・未来**」
 福島県立医科大学医学部放射線腫瘍学講座 教授 鈴木 義行 先生
 2. 「**AI・ディープラーニングとは?~入り口とその先の挑戦~**」
 仙台医療センター 医学物理士 戸森 聖治 先生
 3. 「**医療現場におけるホスピタリティの発揮**」
 一般社団法人 CA ネットワーク ホスピタリティアドバイザー 宇都宮 弘子 先生
 4. 「**放射線治療部会 報告**」
 ① 特殊治療部会活動報告 北福島医療センター 星野 勝
 ② 施設発表 サイバーナイフ
 ・仙台総合放射線クリニック 石屋 博樹
 ・南東北がん陽子線治療センター 大内 久夫
 ③ 施設発表 Tomotherapy
 ・宮城県立がんセンター 菅 尚明
 ・北福島医療センター 阿部 和也
 ④ メーカー発表 サイバーナイフ・Tomotherapy 日本アキュレイ株式会社
 5. 「**メーカーの放射線治療に対する今後の展望**」
 ① 「RTQM システム株式会社」(IoT とクラウドサービスを用いた地域連携・第三者評価への対応)
 ② 「(株)バリアンメディカルシステムズ 今後のがん医療におけるバリアンのビジョン」
 ③ 「シーメンスヘルスケア社 DirectDensity を用いた Contouring 用画像の個別最適化と Dose Calculation 標準化の両立」
 ④ 「エレクタ社 MR 画像を用いたアダプティブ放射線治療の将来展望」

参加人数 : 161 名
 内訳) 青森 : 4 名 山形 : 7 名 茨城 : 3 名
 秋田 : 10 名 宮城 : 26 名 埼玉 : 2 名
 岩手 : 2 名 福島 : 33 名 栃木 : 1 名
 新潟 : 19 名 講師 : 3 名
 メーカー : 52 名

令和元年度の放射線治療あすなろ会は仙台を離れ初の宮城県以外での開催となった。東北 6 県及び新潟県における広域での研究会ということもあり、開催地までの距離の問題から、若干の参加者減となったが、会場であるコラッセ福島では、ほぼ満席となり今回も盛況となった。

今回の臨床講演は福島県立医科大学の鈴木教授よりがん治療で近年話題となっている免疫療法と放射線治療との関係に関して詳しくお話いただいた。また、技術講演では先進的な技術である AI、ディープラーニングという面で、これらの仕組みや今後の方向性を含め複雑な仕組みを初学者にもわかりやすく説明いただいた。

そして我々放射線治療に従事する者にとって非常に重要なことの一つである患者対応という面で、ホスピタリティアドバイザーにより専門的知見からの講義も行われた。

また、昨年度より小部会として特殊治療部会の活動が始まっているため、各地域のトモセラピー、サイバーナイフ使用施設から報告が行われた。導入数の少ない装置であるため、この会を有効に利用して県を越えた連携を期待する。

来年度の第 5 回は宮城県仙台市での開催を予定している。